

第 9 回木曾三川がつなぐ山とまち インターネットフォーラム

- 【日 時】 平成 27 年 11 月 28 日（土）10:30～15:15
【場 所】 木曾町開田小学校体育館ほか
【内 容】 以下のとおり

木曾川の上下流双方の住民交流を目的として毎年木曾郡内で開催されているイベントですが、今年は木曾町開田高原を会場として開催されました。今回、下流域からは名古屋市の新開副市長をはじめ市民ら 128 名、木曾側からは地元木曾町の原町長をはじめ 28 名が参加しました。

下流域からの参加者は、始めにバスで移動しながら「木曾馬の里」や「山下家住宅」、「榊霧しな」を見学しました。同じころ、メイン会場となる体育館では上流域スタッフを対象に、下流域の取り組みを紹介する DVD が上映されました。

参加者到着後は昼食となりましたが、体育館内ではパネル展示や地元事業者の協力による特産品の販売ブースが立ち並んだほか、上流域へのメッセージを書き込む寄せ書きのコーナーが設置され、交流集会が始まるまでの間、参加者の皆さんは歓談しながら見学や買い物などを楽しまれました。

14:15 より交流集会が始まりましたが、オープニングアクトとして地元の小学 1 年生により「開田嫁入り唄」が披露されました。子供たちの声が響き渡る会場内は和やかな雰囲気広がりが、参加者からは大きな拍手が送られました。

今回の集会では、木曾町観光協会の千村会長を講師として、開田高原の歴史等についてお話しいただきました。開田高原の歴史や文化はもちろん、旧開田村の頃に始まる「景観形成事業」の取り組みや、近年の産業や観光業の状況など、多岐にわたる内容をお聞きすることができました。

講演のあと、参加者からの意見発表とエール交換が行われ、エール交換では新開副市長と原町長から講評をいただいたほか、下流域からのメッセージが詰まった寄せ書きが原町長へ送られました。

最後は参加者に上流域からのプレゼントを手渡ししながらお見送りして、15:00 ごろ名古屋へ向け出発され、イベントは無事終了しました。



下流域取り組みの紹介パネル



下流域取り組みの DVD 鑑賞



「寄せ書き（応援メッセージ）」コーナー



特産品販売コーナー



オープニング（「開田嫁入唄」の披露）



講話（木曾町観光協会千村会長）



参加者からの感想発表



寄せ書きを原町長に手渡し



関係者代表による記念撮影